

「リハビリテーション科専門医 教育研修単位一覧表」に基づく
2024年度 単位付与項目

大項目	中項目	項 目	履修単位
(ii) 専門医 共通講習	(註1)	日本専門医機構が認定する専門医共通講習 必修講習A：医療安全、感染対策、医療倫理 必修講習B：医療制度と法律、地域医療、医療福祉制度、医療経済（保険医療等）、両立支援 任意講習C：臨床研究・臨床試験	1-2単位
		(iii) 領域講習 (原則1時間1単位)	日本リハビリテーション医学会学術集会教育研修講演 日本リハビリテーション医学会秋季学術集会教育研修講演 日本リハビリテーション医学会学術集会で指定するセッション (リハビリテーション科領域講習特別プログラム) 日本リハビリテーション医学会地方会が指定する講演 日本リハビリテーション医学会が主催または後援する研修会 【注】：リハビリテーション関連研修会は5年で12単位までのみ認められます。 実践リハビリテーション医学研修会 義肢装具等適合判定医師研修会 臨床筋電図・電気診断学入門講習会 脊損尿路管理研修会、 小児のリハビリテーション実習研修 「動作解析と運動学実習」実習研修会 義手・義足適合判定医師研修会/アドバンスコース 職業リハビリテーション研修会 嚥下障害実習研修会 リハビリテーションに活かす医療コーチング研修会 回復期リハビリテーション病棟専従医師研修会【アドバンスコース】 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会 急性期病棟におけるリハビリテーション診療、栄養管理、口腔管理に係る医師研修会 生活期リハビリテーションにかかわる医師のための研修会 かかりつけ医のための訪問リハビリテーション診療に関する研修会 「急性期病院でのリハビリテーション指示書の書き方」研修会 急性期病院でのリハビリテーションの処方作成法研修会
(iv) 学術業績・診療以外の活動実績に算定できる単位	学会参加の単位	その他国内における集会で日本リハビリテーション医学会が指定する講演	1単位
		日本リハビリテーション医学会が単位付与を認めたe-learningの視聴(註2)	2単位
(iv) 学術業績・診療以外の活動実績に算定できる単位	学会参加の単位	日本リハビリテーション医学会学術集会 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会 (2024年東京)	2単位
		日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (2024年岡山)	2単位
		日本リハビリテーション医学会地方会学術集会 ※随時。開催日時については学会誌・ホームページをご参照下さい。	1単位
		国内におけるその他の集会 日本整形外科学会、日本リウマチ学会、日本神経学会、日本義肢装具学会、 日本臨床神経生理学会、日本脊髄障害医学会、日本老年医学会、日本脳性麻痺研究会、 日本脳卒中学会、日本脳神経外科学会、日本末梢神経学会、 日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本高次脳機能障害学会、 日本脳性麻痺の外科研究会、日本小児神経学会、日本認知症学会、 日本心臓リハビリテーション学会、日本骨代謝学会、日本腎臓リハビリテーション学会、 日本ニューロリハビリテーション学会、日本ボツリヌス治療学会、日本運動療法学会、 日本骨粗鬆症学会、日本ステイミュレーションセラピー学会、日本側彎症学会 日本意識障害学会、日本Knee Osteotomy and Joint Preservation研究会 ※全27学会 開催日時についてはホームページをご参照下さい。	1単位
	学会発表等の単位	日本リハビリテーション医学会が認める国際学会 ISPRM(2024年オーストラリア)	1単位
		【学術発表】 (日本リハビリテーション医学会学術集会、日本リハビリテーション医学会秋季学術集会、日本リハビリテーション医学会地方会を含む)(一般演題、シンポジウムなどを含む)国際学会(別記(1))におけるリハビリテーション医学に関する発表	
		・筆頭	1単位
		・最も貢献度の高い共同発表者1名	1単位
		・座長	1単位
		【学術誌・著書等における発表】 学会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」(以下「リハビリテーション医学」) 英文誌「Progress in Rehabilitation Medicine」(以下「PRM」) 掲載の原著、短報、症例報告、総説等の筆頭著者	2単位
		同 共著者	1単位
		「リハビリテーション医学」「PRM」以外のリハビリテーション関連雑誌の筆頭著者(全9誌) American Journal of Physical Medicine and Rehabilitation、 Archives of Physical Medicine and Rehabilitation、 Journal of Rehabilitation Medicine, Disability and Rehabilitation、 Physical Medicine & Rehabilitation, Clinical Rehabilitation(註3)、 International Journal of Rehabilitation Research、 European Journal of Physical and Rehabilitation Medicine、 Journal of Rehabilitation Research and Development	2単位
		同 共著者	1単位
		その他、リハビリテーション科専門医委員会が指定するピアレビューのある学術雑誌 (商業誌を除く)におけるリハビリテーション科関連論文の筆頭著者	2単位
		同 共著者	1単位
その他 学会誌「リハビリテーション医学」「PRM」の査読	1単位		

別記(1)

The International Society of Physical and Rehabilitation Medicine (ISPRM)

Asia-Oceanian Conference of Physical and Rehabilitation Medicine (AOCPRM)

The American Academy of Physical Medicine and Rehabilitation (AAPM&R)

The Association of Academic Physiatrists (AAP)

(註1) 講習会講師については1時間につき2単位まで付与することができます。

(註2) 視聴ののち、テストを行い、合格した場合、単位を付与します。(なお有料となります。)

なお、e-learningの視聴については、会員は無料でできます。

(註3) 洋雑誌

「認定臨床医生涯教育の履修項目及び単位」に基づく
2024年度 単位付与項目

大項目	項 目	履修単位	
(1) 学会参加の単位	a) 日本リハビリテーション医学会学術集会 第61回日本リハビリテーション医学会学術集会 (2024年東京) (以下「年次学術集会」)	20単位	
	日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 第8回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会 (2024年岡山) (以下「秋季学術集会」)	20単位	
	b) 日本リハビリテーション医学会地方会学術集会 (以下「地方会」) ※随時。開催日時については学会誌・ホームページをご参照下さい。	10単位	
	c) 日本リハビリテーション医学会が認める国際学会(以下「国際学会」) ISPRM(2024年オーストラリア)	10単位	
(2) 教育研修講演等受講の単位	f) リハビリテーション医学に係るのある全国規模の学会学術集会 (以下「関連学会」) 日本整形外科学会、日本リウマチ学会、日本神経学会、日本義肢装具学会、 日本臨床神経生理学、日本脊髄障害医学会、日本老年医学会、日本脳性麻痺研究会、 日本脳卒中学会、日本脳神経外科学会、日本末梢神経学会、 日本摂食嚥下リハビリテーション学会、日本高次脳機能障害学会、 日本脳性麻痺の外科研究会、日本小児神経学会、日本認知症学会、 日本心臓リハビリテーション学会、日本骨代謝学会、日本腎臓リハビリテーション学会、 日本ニューロリハビリテーション学会、日本ボツリヌス治療学会、日本運動療法学会、 日本骨粗鬆症学会、日本スティミュレーションセラピー学会、日本側彎症学会 日本意識障害学会、日本Knee Osteotomy and Joint Preservation研究会 ※全27学会 開催日時についてはホームページをご参照下さい。	10単位	
	a) 「年次学術集会」で行われる教育研修講演	10単位	
	「秋季学術集会」で行われる教育研修講演	10単位	
	b) 「地方会」で行われる教育研修講演	10単位	
	c) 日本リハビリテーション医学会が主催または後援する研修会 (以下「関連研修会」) 実践リハビリテーション医学研修会 義肢装具等適合判定医師研修会 臨床筋電図・電気診断学入門講習会 脊損尿路管理研修会 小児のリハビリテーション実習研修 「動作解析と運動学実習」実習研修会 義手・義足適合判定医師研修会アドバンスコース 職業リハビリテーション研修会 嚥下障害実習研修会 リハビリテーションに活かす医療コーチング研修会 回復期リハビリテーション病棟専従医師研修会【アドバンスコース】 急性期病棟におけるリハビリテーション医師研修会 急性期病棟におけるリハビリテーション診療、栄養管理、口腔管理に係る医師研修会 生活期リハビリテーションにかかわる医師のための研修会 かかりつけ医のための訪問リハビリテーション診療に関する研修会 「急性期病院でのリハビリテーション指示書の書き方」研修会 急性期病院でのリハビリテーションの処方の作成法研修会	20単位	
	e) 「関連学会」で行われる教育研修講演	10単位	
	f) 地方で定期的に行われる研究会や学術集会での教育研修講演	10単位	
	h) 日本リハビリテーション医学会が単位付与を認めたe-learningの視聴 (註1)	20単位	
	(3) 論文の単位	a) 学会誌「The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine」(以下「リハビリテーション医学」) 英文誌「Progress in Rehabilitation Medicine」(以下「PRM」) 掲載の原著、短報、症例報告、総説等の筆頭著者	30単位
		同 筆頭著者以外の著者	10単位
b) 「リハビリテーション医学」「PRM」以外のリハビリテーション関連雑誌の筆頭著者 (全9誌) American Journal of Physical Medicine and Rehabilitation、 Archives of Physical Medicine and Rehabilitation、 Journal of Rehabilitation Medicine, Disability and Rehabilitation、 Physical Medicine & Rehabilitation, Clinical Rehabilitation (註2)、 International Journal of Rehabilitation Research、 European Journal of Physical and Rehabilitation Medicine、 Journal of Rehabilitation Research and Development		20単位	
同 筆頭著者以外の著者	10単位		
(4) の学会発表等	a) 「年次学術集会」・「秋季学術集会」・「国際学会」でのシンポジウム、パネルディスカッション、特別講演等の筆頭演者	15単位	
	b) 「年次学術集会」・「秋季学術集会」・「国際学会」での一般発表(口演、ポスター)の筆頭演者	10単位	
	c) 「地方会」での発表筆頭演者	10単位	
	d) 「年次学術集会」・「秋季学術集会」・「関連研修会」・「地方会」・「関連学会」での教育講演、実習担当者	15単位	

(註1) 視聴ののち、テストを行い、合格した場合、単位を付与します。(なお有料となります。)

なお、e-learningの視聴については、会員は無料でできます。

(註2) 洋雑誌